



CHARTERED SEPT. 11, 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017 - 18 会長主題

共に行動 共に喜びを

あずさ部長	大野貞次 (東京西)	「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東日本区理事	栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Henry Grindheim (ノルウエー)	“ Let Us Walk in the Light—Together ” 「ともに、光の中を歩もう」

会長 上妻英夫 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 浅羽俊一郎 / 会計 中村孝誠
 直前会長 金本伸二郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2017年10月 例会

<EMC/E, YES の月>

とき 10月17日(火) 18:30-20:30
 ところ 山手センター 101号室
 受付 飯野さん、尾内規子さん
 司会 中村さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 尾内さん
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 <会食> 一同
 ハッピーバースデー
 卓話「知って得する保険」 溝口昭成さん
 トータルライフプランナー
 2級ファイナンシャルプランニング技能士
 損害保険協会認定損害保険プランナー
 ニコニコ 一同
 報告・連絡事項 各担当
 閉会点鐘 会長

当番(第2班) 中村、尾内(規)、飯野

10月 HAPPY BIRTHDAY

飯野毅与志さん 5日

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

目に光を与えるものは心をも喜ばせ
 良い知らせは骨を潤す。

—箴言 15章 30節—

9月報告

会員在籍数		14名
例会出席者	メン	10名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		3名
会員出席率		71%
ニコニコ		6,145円 (累計 13,899円)

B F 国内切手 -g 外国切手 -g

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



9月例会 報告

9月19日(火) 18:30-20:30

山手センター 101号室

出席者: 上妻、浅羽、飯島、飯野、尾内、尾内(規)、
金本、功能、中村、星住 10名

ゲスト・ビジター

橋本晃一さん(旧東京多摩チャーターメンバー)

吉田明弘さん(東京西)

小原史奈子さん(東京たんぽぽ) 3名

合計 13名

司会: 尾内さん

当夜は8月納涼例会に出席された橋本晃一さんをお招きして卓話を伺った。

ハッピーバースデーはスイスから帰国したばかりの浅羽さん、浅羽さんご本人が弾くピアノに合わせてみんなで歌いお祝いした。

橋本さんは「ワイズと私のYMCA」と題して立ったままで話された。

<卓話要旨>

国際的な社会奉仕団体にはワイズメンズクラブのほかにも、1905年に生まれたロータリークラブ、1917年に生まれたライオンズクラブがあるが、それらのクラブとワイズメンズクラブとの違いは、ワイズが若者と直接つながっていること、若者と一緒に、ということにあり、これがワイズの特徴である。

私は、小学校1年の娘が武蔵野YMCAの早朝

サイクリングに参加していたのがきっかけでYMCAに入った。当時は飯島さんが武蔵野YMCAにおられた。早朝6時、冬だとまだ真っ暗な時間に、リーダーが先頭を走り、子供たちがそれに続いて、最後尾もリーダーが走る、そのリーダーたちの活動を見て感動した。武蔵野YMCAのランチ委員に選ばれた。立川ランチでも委員に選ばれた。そして、1984年に東京多摩クラブができたときはチャーターメンバーの一人になった。1995年までメンバーだった。

私には、YMCAがあつてこそそのワイズメンズクラブだという思いが強くなる。

.....

- 卓話の後、星住さんからYMCAの報告があつた。
- ①9月3日に戸塚公園で防災フェスタが開催され、3,000人が来場した。中村さんが応援参加。
- ②9月16日新宿で街頭募金、21万5,717円の募金をいただいた。ボランティアは184人だった。
- ③9月23日のチャリティーラン、山手センターから20名参加する。コースづくりに協力を。
- ④10月の山手バザーのために献品協力を。
- ⑤ソシアスフォーラムが11月25日(土)に江東YMCA幼稚園で開催される。
- ⑥YMCAのロゴマークが10月から変わる。

また、西クラブの吉田さんから、あずさ部会には100人集めたいとのアピールがあつた。続いて浅羽さんからは、ジュネーブ報告として①9月10日にルター宗教改革500年記念礼拝に出席した。

カトリックとプロテスタントが歩みよっている。
②ワイズ国際本部を訪問した。国際事務局も縮小された。ジュネーブは時給が3000円近い。

.....
元気カード<私は今日このことで元気です>
の書き込みからです。

- ・橋本晃一さん 何か役に立つお話が出来まして。
- ・上妻さん 橋本さんに会う嬉しさ。
- ・浅羽さん 2か月ぶりに例会出席。風邪がなおらないけれど気持ちは元気です。
- ・尾内さん 大阪茨木クラブ25周年例会に大阪日帰りで行って来ました。加藤寅尾氏より元気をもらいました。
- ・尾内規子さん 近所の会館で落語を聞いてきてすっかり元気になりました。
- ・金本さん 本日の仕事の大部分はクレーム対応でした。分かり合える大切さを学びました。
- ・功能さん 橋本さんと握手して柔道6段の鍛えた体からエネルギーをいただきました。
- ・星住さん 朝晩涼しくなったので。

ヨルダン会 報告

日時： 9月27日(水) 14:30~16:30
場所： 華屋与兵衛
出席： 上妻、浅羽、尾内、中村、功能 5名

- 1、10月例会卓話 溝口昭成氏—信友保険サービス(株)課長—(トータルライフコンサルタント・2級ファイナンシャルプランニング技能士・日本損害保険協会認定損害保険プランナー) 保険についての面白い話を依頼した。
- 2、11月 3クラブ合同例会
11月21日、落語のタベ・ユース報告会
落語 入船亭扇蔵さん(真打)
プログラム、設営等は3クラブで協議する。
- 3、会員増強の件
「会員」になるまではいかないがワイズに顔を出してみたいという人たち向けの「会友」制の導入を考えたい。(浅羽)
- 4、東日本区各種献金の件
区からの関係書類を中村会計が保管。
- 5、12月クラブクリスマス例会について
従来のプログラムをがらりと変えられないかという会長意見があった。
- 6、山手センターバザー 10月15日(日)
当日の食事、買い物等で協力を。
- 7、その他

1、チャリティーランに1,500人来場

障がいのある子どもたちを支援する「東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」を9月23日(土祝)、都立木場公園で開催しました。前夜からの大雨で一時は開催が危ぶまれましたが、設営の頃には薄日が差し始めて涼しい駅伝日和となり、約300人のランナーと伴走者が力走。レース前の「こどもラン」には幼児小学生450人とその保護者をあわせて700人が参加、沿道をうめた応援者、ボランティア・スタッフ約170人を含めると来場者総数は1,500人を越えて賑やかな大会となり支援総額は480万円となりました。山手センターからも、山手、西、サンライズ、たんぼぼの4クラブ、山手学舎後援会からの支援を受け3チームが参加しました。山手センターでは、引き続き、障がいのある子どもたちの支援を目的とし募金活動を継続してまいります。

2、国際協力街頭募金

9月16日(土)、毎年恒例の国際協力一斉街頭募金を新宿駅周辺で実施しました。台風が接近する肌寒い日でしたが、13時から17時の4時間にわたり予定通り行うことができました。当日、東京YMCAの各コミュニティセンター、学校、幼稚園をはじめ各拠点から集まったボランティアは総勢184名。新宿駅東口、西口、南口の3カ所に分かれ、幼児からシニアまで一緒に街頭に立ち、声を合わせて支援を呼びかけました。留学生たちは各国の言葉をパネルに書いてアピールし、道をゆく様々な国の方々からもご協力をいただきました。当日寄せられた募金総額は215,717円。バンングラディッシュYMCAの働く子どもたちの学校をはじめ、今夏の大洪水で被災したバンングラディッシュの子どもたちのために用います。皆様のご支援に感謝します。

3、山手コミュニティセンターバザー

10月15日(日)毎年恒例のバザーを開催します。ご家族、お友達をお誘いの上、どうぞ皆さんでご来館ください。収益金はボランティアリーダーの育成、国際協力募金、復興支援募金、フレンドシップファンドに使わせて頂きます。(星住)

DBC 大阪茨木クラブ 25周年記念例会

に参加して

上妻英夫



“小春日や茨木まちの爽やかさ”

9月2日、新大阪駅でJR東海道線に乗り暫くして、井上公男兄（大阪西）が向いの席で私のワイズバッジを見て、側に座られ、旧知の仲の様に話された。そして会場迄案内して頂き、初めての土地でない様に会場に着きました。早めであったが茨木会員は手際よい受付で席に案内して下さった。しかしDBC締結時の大阪周辺の旧友が殆ど居られず寂しい感じがしました。間もなく尾内兄が到着、大野勉西日本区理事を紹介して頂きました。

塚理（さとる）副会長の司会で開会、清水真一会長の開会の挨拶では、これまで数知れない多くの方々のご好意による25周年と話され、来賓の方々から茨木クラブの地元への素晴らしい活動状況が報告されました。乾杯は小生が指名され、列席者100余名と共に祝杯を高らかに挙げました。

クラブ25周年の歩みの映像では、37名の若々しいチャーターメンバーの頼もしい姿が紹介され25年の歴史を感じました。

続いてお笑いの本場大阪ならではのプログラム、吉本興業唯一の腹話術師、川上じゅん氏の巧みな演技に魅了されました。初めに、不思議なホワイトボードが口を開いて話す腹話術、人形と手長猿との3人衆の演技、最後にYMCAの女性リーダーの口だけに奇妙な仮面を付けて、西城秀樹のYMCAの歌に口と身体を合わせて演技をする技は見事なものでした。

記念品贈呈には茨木市社会福祉協議会に車椅子2台、大阪YMCA少年サッカー部にユニホーム一式、茨木青年会議所の子供との餅つき大会に金

一封等、素晴らしい記念事業でした。チャーターメンバー紹介では加藤寅尾兄、藤井英世兄、山崎憲兄、岡村千陰姉4名が紹介、表彰され、加藤兄から当時の思い出話をご披露され、盛り沢山のプログラムが時間の過ぎるのも忘れたように進行されました。ワイズソング、YMCAの歌、記念撮影でお開き、充実した祝会でした。

帰る時間に余裕があったため、周辺散策、市庁舎前は広々とした公園その中に大小のグラウンド、二段目グラウンドでは高校生数人2本のロープで縄飛びに夢中になっている。森の中には姉妹都市・中国安慶市からの巨大な狒犬二頭が庁舎の方に向けて座っている。道路に上り茨木神社を訪ねたら、自転車から降りて丁寧に教えてくれた。十字路の所に大鳥居そして重厚な社が目に入り、境内右側の社務所では神職の方が数人お仕事、左側には土蔵中に社、参拝者何人もが私を追い抜き拝殿して行く、皆に習って参拝、庁舎を左にして方角を訪ねたら、前はJR後ろは阪急と止まって教えてくれた。JR駅（3階位）日除けの下で、腰を下ろして今来た所が一望に見える、ひとときわ高い市庁舎が悠然と見える。ビルの乱立しない落ち着いた街並みが微笑ましく、街人の心良さに、思い出残る一日でした

おたより(9月)

<加藤寅尾さん> (大阪茨木クラブ) 9月に入ったせいか、空を見上げるとシーラス(巻雲)が出ていて大分秋めいてまいりました。遠いところを記念式にご出席頂き有難うございました。私の創設したクラブが25年目を迎えることができ、ワイズへの恩返しをできたかとホッとしています。

<上妻英夫さん> 「ズブ濡れや神輿の掛け声たからかに」ちょうど台風18号が通り、一日中雨であったが、祭、神輿の出番、若者は雨の中ズブ濡れ、掛け声が余計高く帰りついた。

<飯野毅与志さん> 山中湖のユースボランティアフォーラムに行ってきました。来年もまた行きたいと思います。9月30日、10月1日の富士山例会に行きたいと思います。

<金本伸二郎さん> 8月納涼例会は欠席してしまい申し訳ありませんでした。9月に入り、頭をリフレッシュし、励みたいと思います。

<増野 肇さん> あずさ部会の方は出られるようにします。